

「道の日」に思う

八月十日は「道の日」。大正九年八月十日に「日本第一次道路改良計画」が発表されたのを記念したものである。みちは日本古来の大和言葉で「みち」は美しい、ちが道。多くの人々が歩いて踏み固められ、きれいなみちができたからだろう。みちに当てはめた外来漢字をあげてみると

道：人が通る一般的な道。
 道徳的な人の道の意も。
 路：太い縦道を横につなぐ道。
 径：近道・さしたの道。
 隧：墳墓地下道・トンネル。
 未知：道路財源は予想不可能。
 「道の日」に因んで、当町が中心となって整備中の道・路・径・隧の進捗状況をまとめてみたい。

続く道として、この区間が国道に昇格された。しかし、財源不足などから工事が行われず、まぼろしの国道となっていた。それが、法定・南条郡合併協議会設立時に、合併後の三地区をつなぐ近道―即ち「径」としてのこの道が、それも、雪に強くするために長いホノケ隧道が絶対必要として、三町村合同での「国道三〇五号・ホノケ山トンネル建設促進期成同盟会」も設立された。会長の川野村長を先頭に、赤星・西村両町長と私、西村・仲倉両県議、三町村議長、地元議員らが、国会議員・国土交通省や県に陳情を重ねた結果、国はこの道を「市町村合併支援特別道路」に指定し、合併前に予算が計上されるようになった。ただ、国交省職員から「この道の経済効果は？」「合併されるのですから応援してあげましょう」などの言葉を聞くと、私は年甲斐もなく頭にコチンときて、次のように説明したも

として、促進期成同盟会の活動が必要であろう。
 ⑨河野有料道路
 今年の十月より無料化され

て県道になる。これに合わせて、大谷く国道八号も県道にして、用地交渉中の未知なる道。

道路名	距離 (km)	事業費 (億円)			完成予定年度		
		総事業費	～19年度	20年度		21年度～	
国道305号	7.16	106.2	25.4	10.7	70.1	平成26年度	
奥野々～河内	6.4	90.9	16.7	7.2	67.0	平成26年度	
河内～赤萩	0.7	14.0	8.0	3.2	2.8	平成21年度	
糠 (災害)	0.1	1.3	0.7	0.3	0.3	平成21年度	
国道8号 (国直轄) トンネル・橋など	1.3	国直轄事業であり促進期成同盟会もなく不明			4.7	不明	平成21年12月
国道365号	2.3	5.1	2.2	1.3	1.6	—	
湯尾 (歩道)	0.9	2.9	1.4	0.7	0.8	平成21年度	
孫谷 (〃)	0.9	0.4	0.2	0.1	0.1	平成21年度	
孫谷 (改良)	0.5	1.8	0.6	0.5	0.7	未知	
県道中小屋・武生線	4.4	34.5	18.0	5.5	11.0	平成22年度	
向新保～下平吹	1.7	19.2	6.0	5.5	7.7	平成22年度	
下平吹～上平吹	2.7	15.3	12.0	—	3.3	平成22年度	
県道南条・池田線	3.7	0.4	0.1	0.1	0.2	未知	
森林基幹道越前南部線 (春日野～山中峠)	17.5	54.6	40.2	1.8	12.6	平成25年度	
森林基幹道今庄池田線 (杣木俣～魚見)	6.8 (南2.6+池4.2)	17.8	2.7	1.0	14.1	平成24年度	



のである。「この道を十年以上も前に国道に昇格したのは国主動だったのです。その理由は、私達の地域は関西・中京経済圏と北陸経済圏を結ぶ重要道路、即ち北陸高速道・国道八号・国道三六五号の三本が、南北に平行に通っている交通要所です。また、日本有数の豪雪地帯でもあり、五六豪雪時はこちらも、普通の年でも一夜のドカ雪の度に、これらの道が大渋滞または交通止になることがあり、日本の経済流通に大きな悪影響を与えていた。この時のドライバーの苦しみはもちろん、この人達に食料や水を徒歩で配布する役場職員、通勤・通学・通院・買物の足を奪われる沿線住民の苦労は甚大であった。これらの道路の雪害を少しでも緩和するためには、この逃げ道のない三本の主要道を横に連絡する道が必要として、国がこの道を国道に昇格したものです。」と。

この十年以上前の話は国側は全く忘れていたのである。従ってこの道は、町村合併とは関係なく三主要道を横に結びショートバイパス (短絡迂回路)―即ち「路」として国主動で計画されたのである。この道も、今年十億四千万円の予算がつき、奥野々坑口から掘削工事が開始され八号線との交差点付近は赤萩橋 (仮称) も含めて来年度完成、全体完成は二十六年年度予定。しかし、道路財源が「未知」であるため、更なる陳情が必要であろう。また、あつてはならないが活断層帯に建つ原発の事故時の避難経路としても、この長い隧道が必要だと思われる。

パスとして計画されたもの。日野川右岸 (東側) 住民にとっては重要な生活道である。今年の春は、道路特定財源で国会が混乱したが、ようやく五月から下平吹坑口から「松ヶ鼻トンネル」の掘削工事が開始され、今年の九月十日に貫通予定。この隧道と下平吹く中平吹間の道も平成二十二年度末には完成・開通の予定。